

みらかホールディングス株式会社
2019年度（2020年3月期）
第3四半期 業績概況

2020年 2月 10日

※ 本資料では、記載している部分及びEBITDAの数値を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。

※ 「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」と省略する場合があります。

※ 数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。

※ 各事業名については以下のとおり省略する場合があります。

CLT : 受託臨床検査事業 IVD : 臨床検査薬事業

SR : 滅菌関連事業 ENB : 新規育成事業及びその他

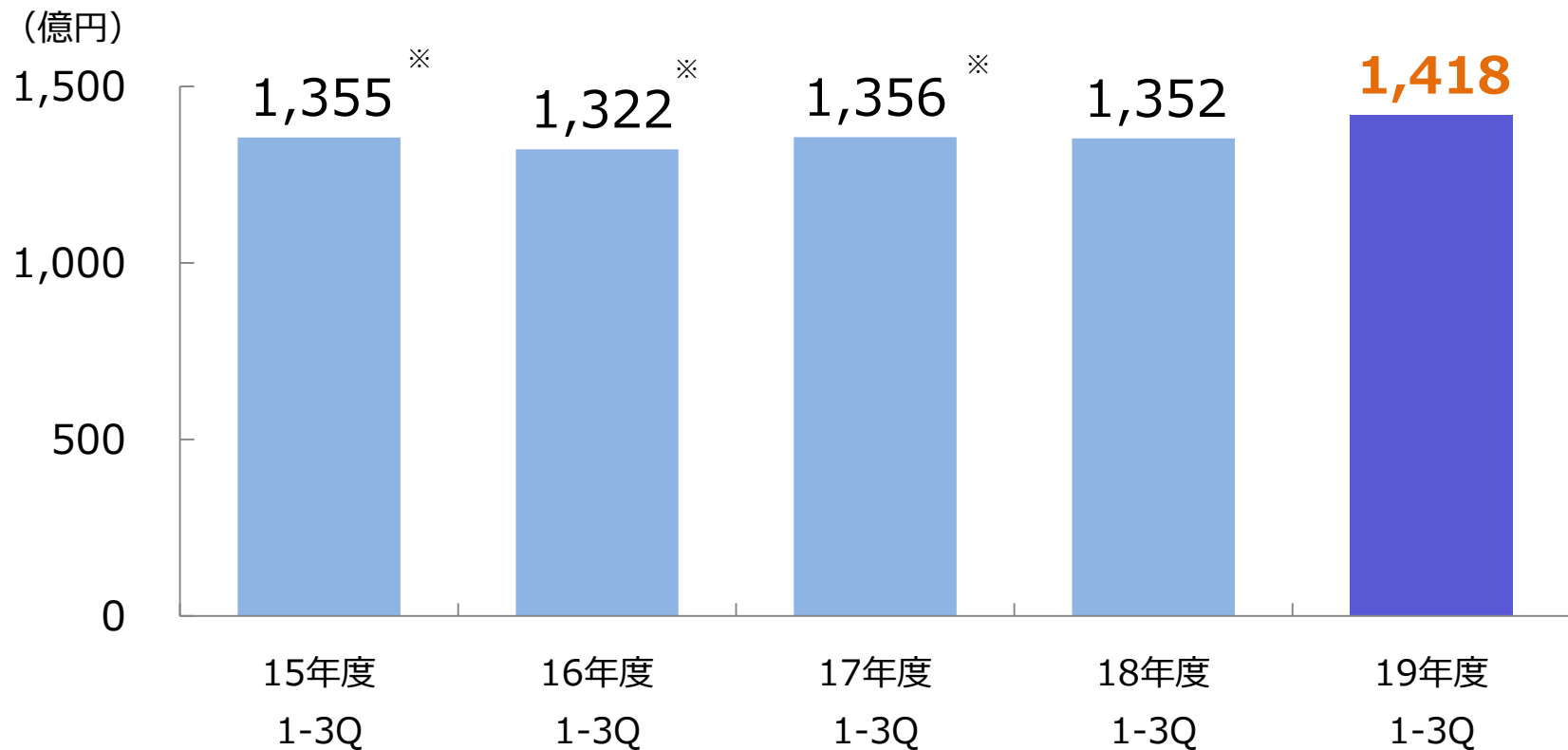
※ 2019年度第1四半期より報告セグメントを変更しております。本資料は過去実績も遡及し、変更後の報告セグメントの報告区分に基づき作成しております。

※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2018年度1-3Q : 1USD = 111.15 JPY 1EURO = 129.48 JPY

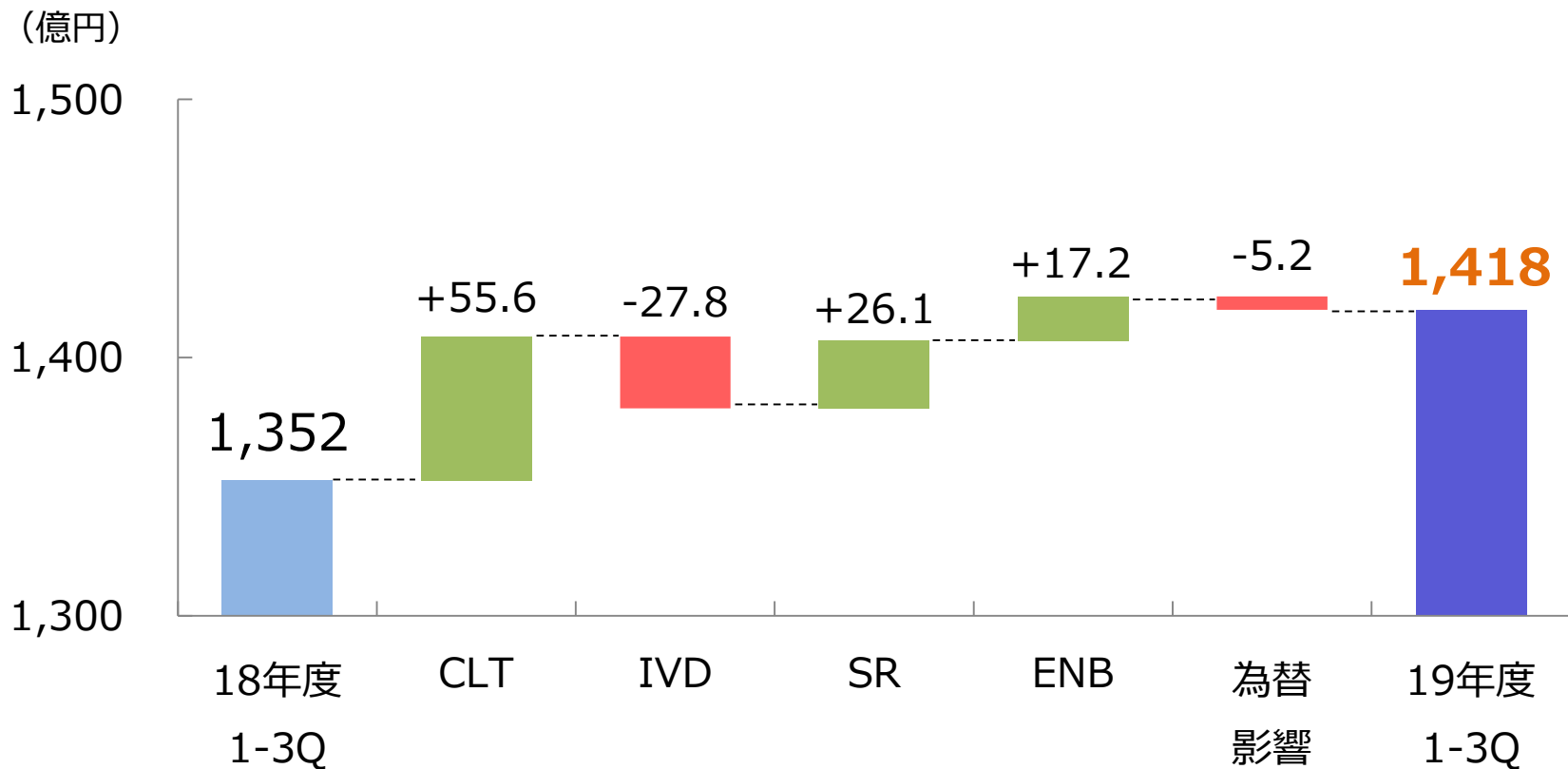
2019年度1-3Q : 1USD = 108.67 JPY 1EURO = 121.04 JPY

連結売上高 推移

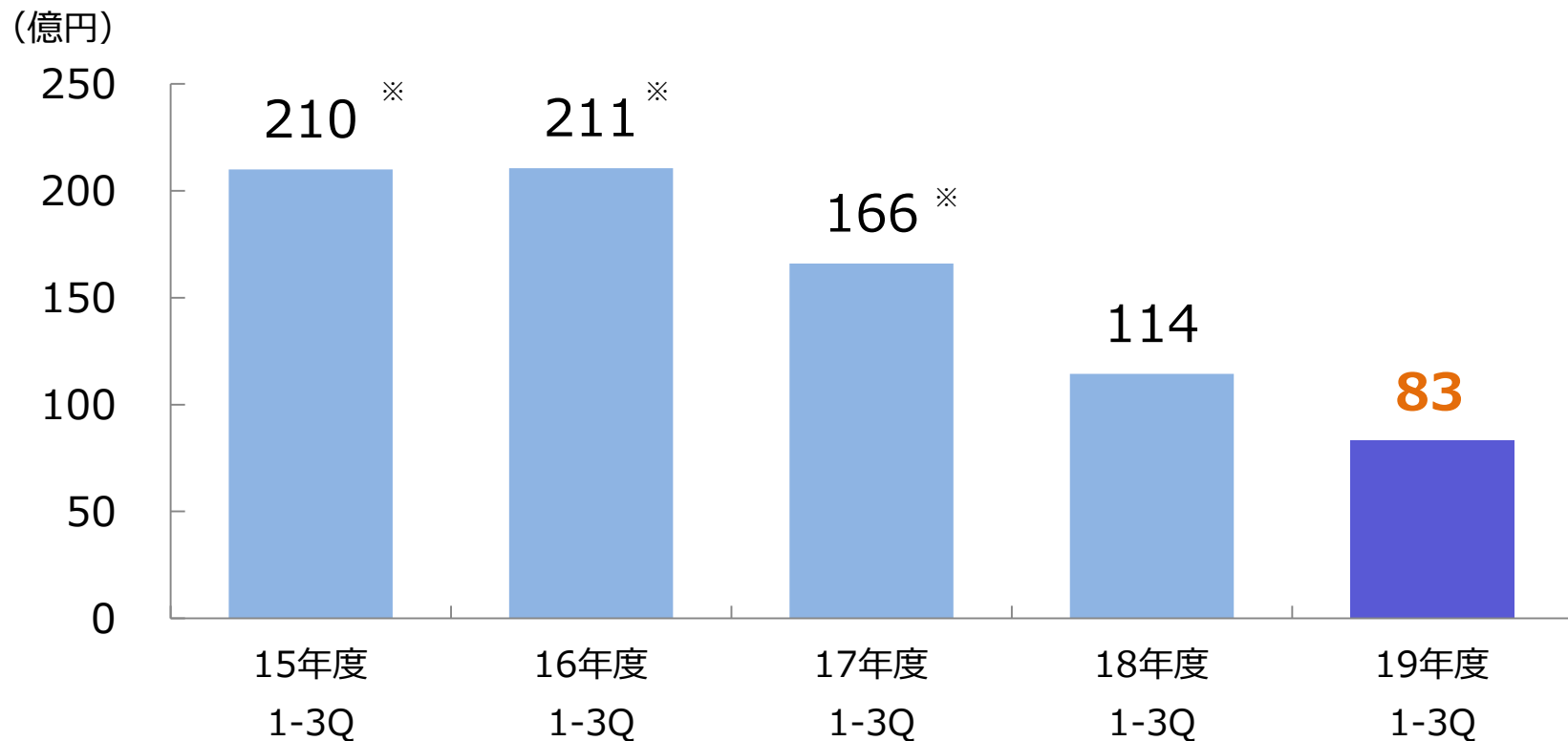


※ 海外CLTを除く

連結売上高 対前年同期比較



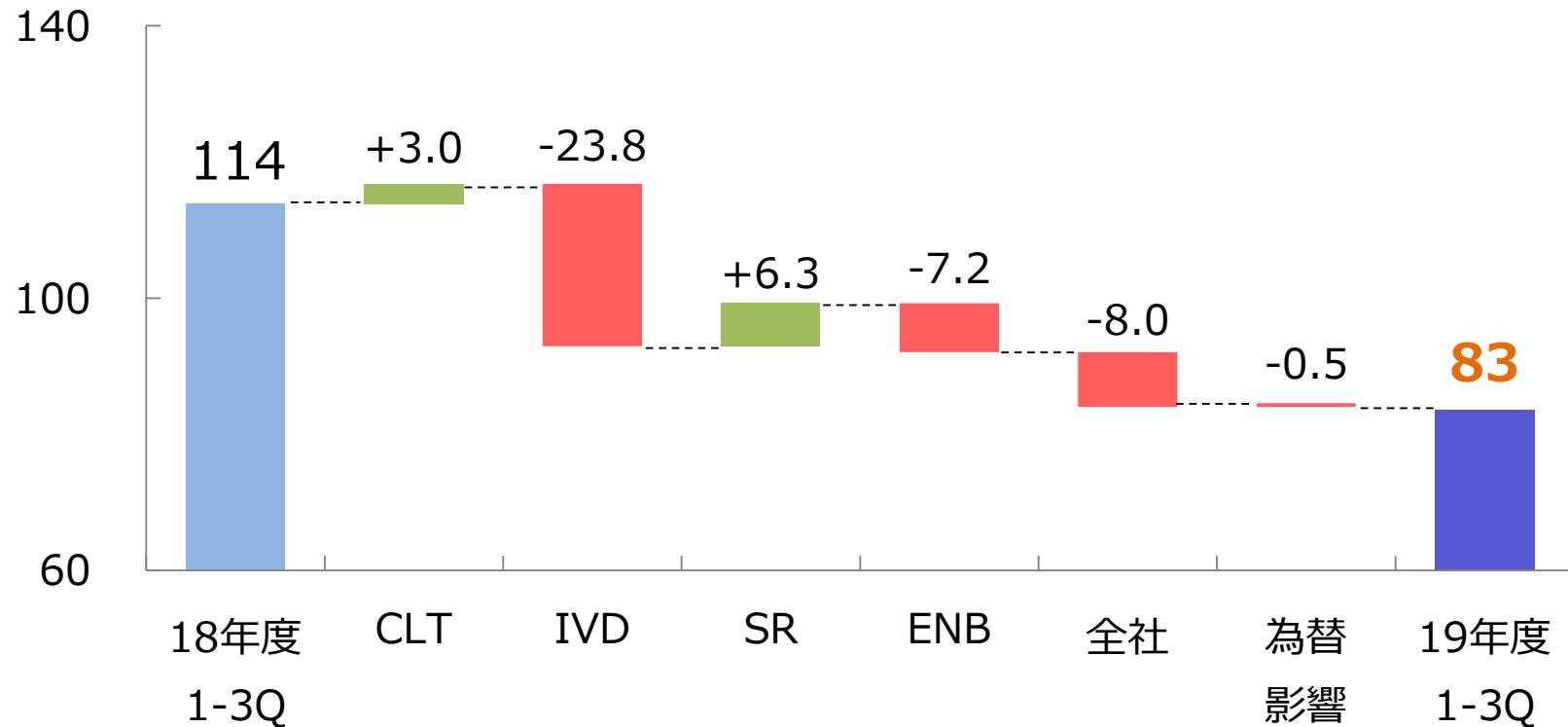
連結営業利益 推移



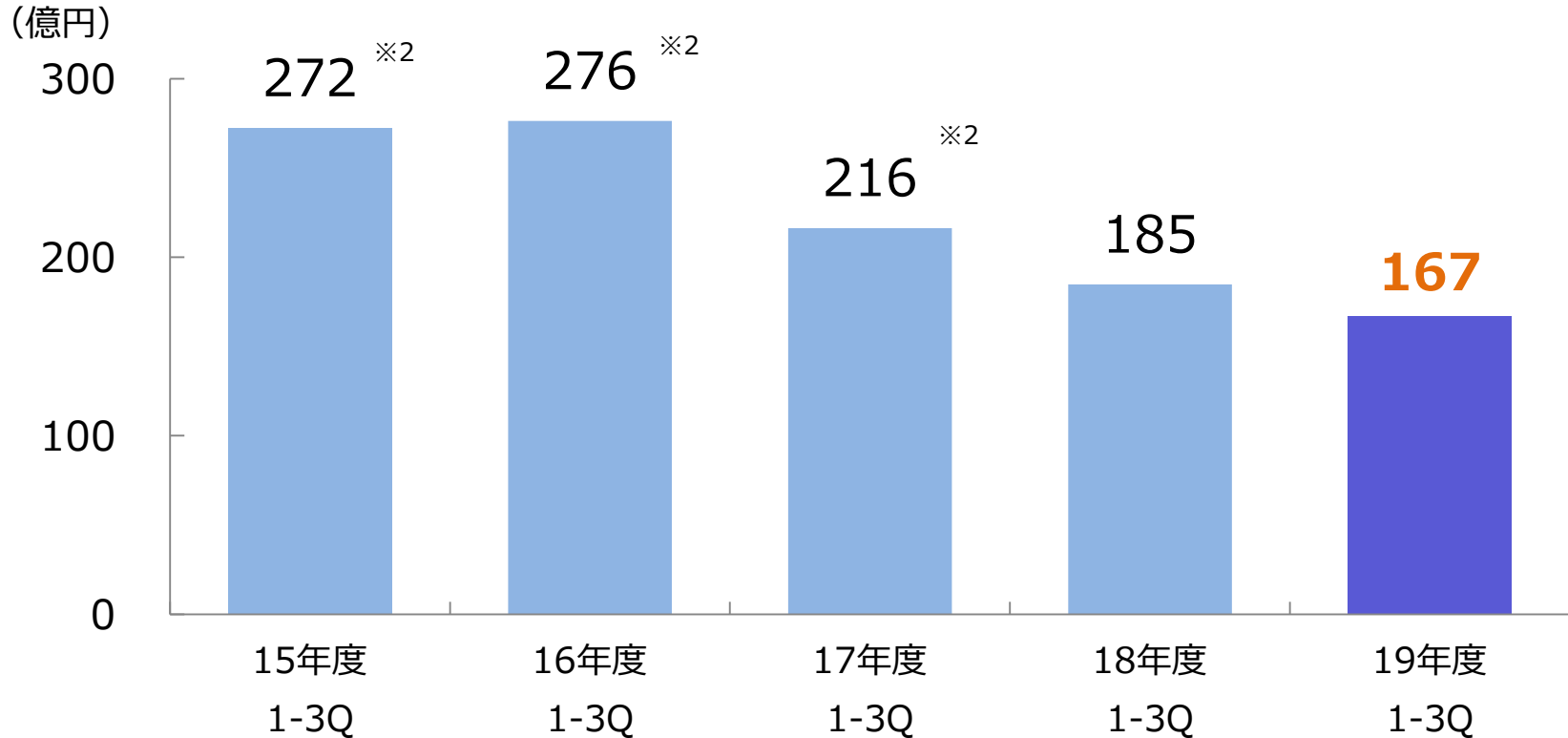
※ 海外CLTを除く

連結営業利益 対前年同期比較

(億円)



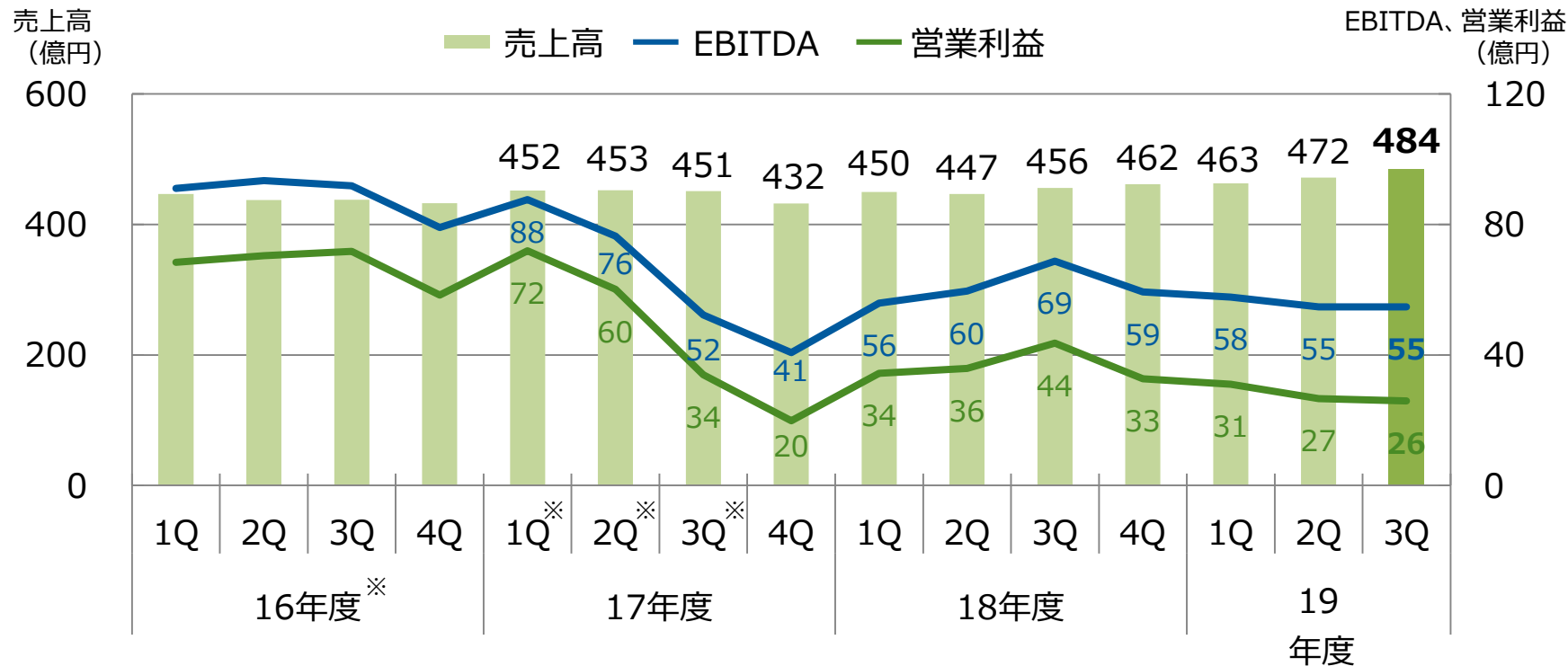
連結EBITDAの推移^{※1}



※1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

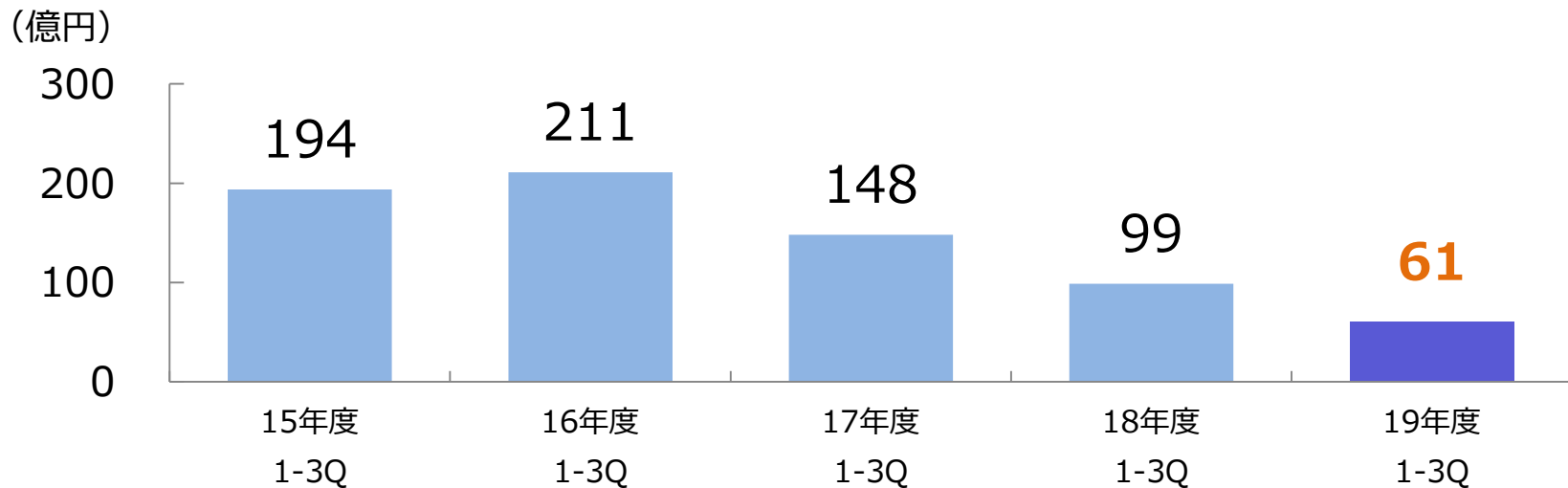
※2 海外CLTを除く

四半期毎の業績推移



※ 海外CLTを除く

連結経常利益 推移



主な営業外損失

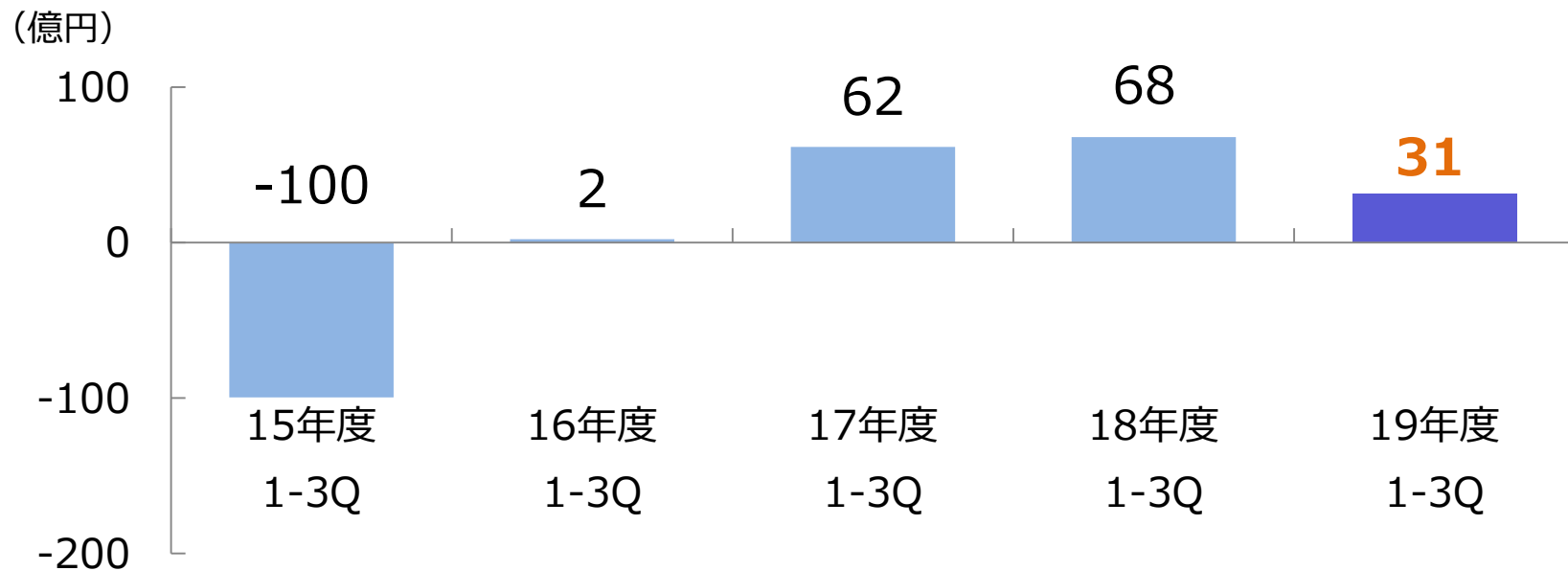
【2018年度1-3Q】

● 持分法による投資損失 ▲19億円

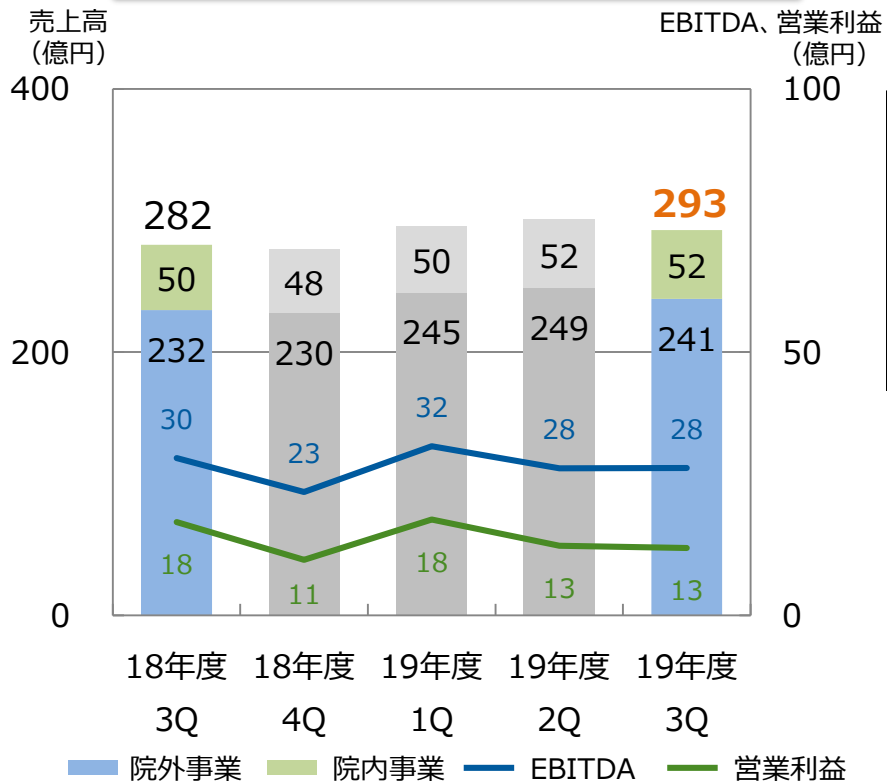
【2019年度1-3Q】

● 持分法による投資損失 ▲23億円
(BMGL : ▲18億円、平安保険グループとのJV : ▲5億円)

連結当期純損益 推移



四半期推移



対前年同期比

(億円)

	18年度 1-3Q	19年度 1-3Q	対前年同期増減	
売上高	833	889	+55.6	+6.7%
院内	148	154	+6.4	+4.4%
院外	685	735	+49.2	+7.2%
EBITDA	75	88	+13.1	+17.4%
営業利益	41	44	+3.0	+7.2%

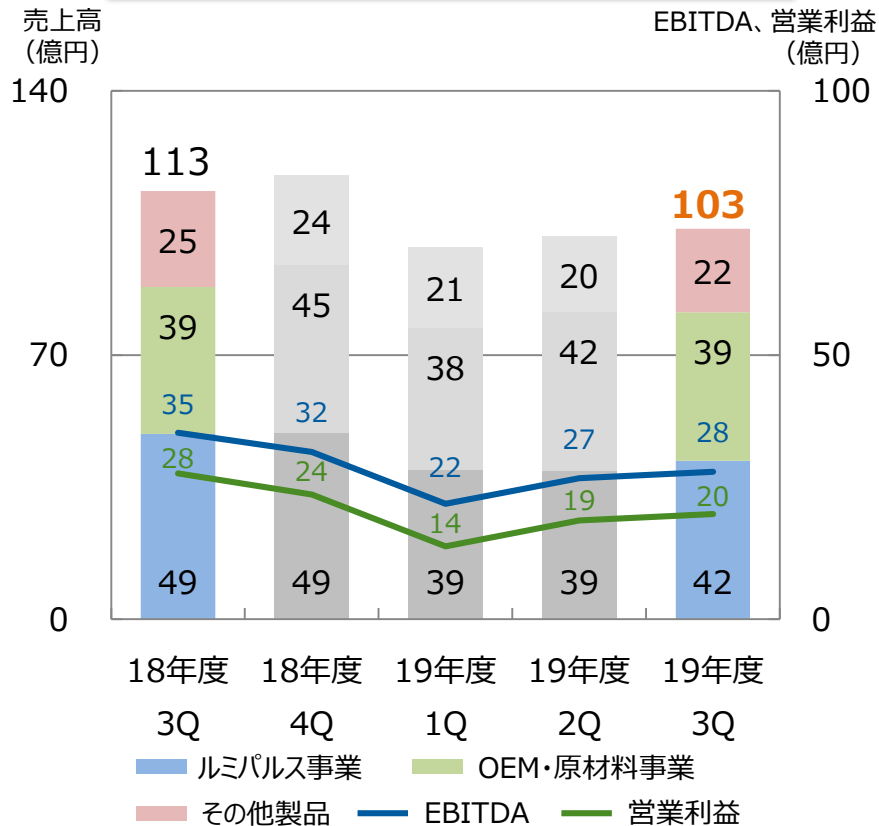
売上高

- テスト数：+5.8%
- 遺伝子関連検査の伸長
- 新規顧客獲得による増収

営業利益

- 前年同期比で増益
- 固定費削減施策の発現遅延により利益率改善は限定的
- 減価償却費の増加 (▲約10億円)、中国展開のための費用 (▲約4億円) が発生

四半期推移



対前年同期比

(億円)

	18年度 1-3Q	19年度 1-3Q	対前年 同期増減	
売上高	336	303	-33.0	-9.8%
ルミパルス	145	121	-24.4	-16.8%
国内	135	105	-30.0	-22.2%
海外	10	16	+5.6	+55.2%
OEM・原材料	119	119	+0.5	+0.4%
その他	73	64	-9.1	-12.5%
EBITDA	100	77	-23.3	-23.4%
営業利益	77	52	-24.4	-31.8%

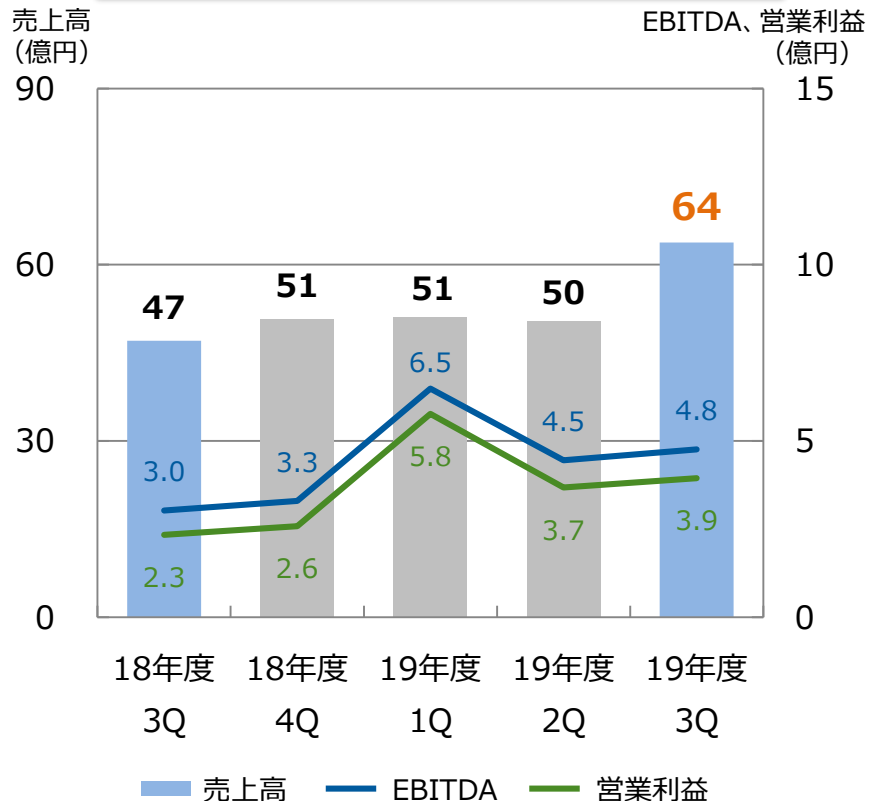
売上高

- 日赤事業の契約終了による減収
- 海外ルミパルスは伸長
- OEM・原材料は現地通貨ベースで堅調に推移

営業利益

- 日赤事業の契約終了による減益
- 大口顧客獲得に伴う先行費用

四半期推移



対前年同期比

(億円)

	18年度 1-3Q	19年度 1-3Q	対前年 同期増減	
売上高	139	165	+26.1	+18.8%
EBITDA	9.1	15.7	+6.6	+71.9%
営業利益	7.1	13.4	+6.3	+88.6%

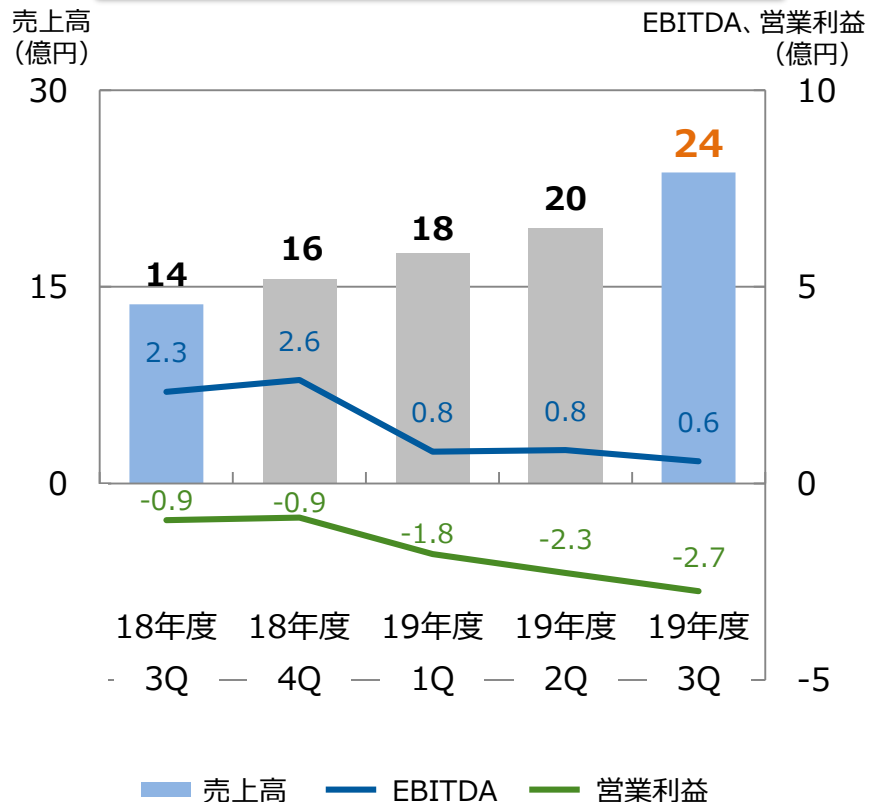
売上高

- 設備機器や消耗品等の販売が伸長
 - ✓ 全面受託化を推進
 - ✓ 中央材料室の機能全てを受託
- 大口顧客への預託販売を開始
- 契約価格見直しによる増収

営業利益

- 契約価格見直しによる増益

四半期推移



対前年同期比

(億円)

	18年度 1-3Q	19年度 1-3Q	対前年 同期増減	
売上高	44	61	+17.2	+39.5%
EBITDA	8.4	2.2	-6.2	-73.7%
営業利益	0.4	-6.8	-7.2	-

売上高

- セルメスタの売上が寄与
対前年影響額：+約18億円
- 地域医療センターの連結除外による減収
対前年影響額：▲約6億円
- 在宅・福祉用具事業の伸長

各事業の進捗

- 食品・環境・化粧品検査事業
日本食品エコロジー研究所を完全子会社化
(2019年12月※)

※連結損益の取り込みは第4四半期以降

主要KPI

				2019年度 1-3Q	2018年度 1-3Q
CLT	院内検査受託施設 純増減数			+39	+28
	開業医顧客 純増減数			+688	+535
IVD	ルミパルス	国内 [※]	設置台数	106	86
			純増減数	±0	+6
	海外	設置台数	92	80	
		純増減数	+61	+64	
グループ内取引純増減金額（億円）				+3.7	+2.9

※ グループ内（CLT院内含む）・グループ外設置の総数

業績修正について

	期初計画	修正計画	増減額	増減率	(参考) 18年度実績 (億円)
売上高	1,910	1,910	-	-	1,814
営業利益	145	118	-27	-18.6%	146
経常利益	117	88	-29	-24.8%	115
当期利益	76	53	-23	-30.3%	64
EBITDA	265	228	-37	-14.0%	244

修正の理由

【営業利益】

- CLT：セールスマックスの変化
第3四半期以降より発現を見込んでいた固定費削減が想定に至らなかった
- ENB：業績未達

【経常利益】

- BMGL：新規獲得案件の売上発現が遅延

【連絡先】

みらかホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション本部 IR/SR部 TEL : 03-5909-3337

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。